赤の世界

零・ZA・音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
赤の世界

【Ｎコード】
Ｎ４４５２Ａ

【作者名】
零・ＺＡ・音

【あらすじ】
僕は他人に興味がない。僕は一人になりたかった。そして世界は赤になった。

世界は綺麗な色に染まる。
赤――夕焼けではない赤色。
見る物全てを赤く染める”ソレ”は確実に広がっていく。

今日――僕は一人になった……。

始まりの朝。
いつものように起きた僕は、いつものように朝ご飯を食べていた。
「今日は帰り遅いの？」
「ううん。今日は部活ないから」
僕はそう答えると、「わかったわ」と答える。
この人は母と呼ばれる人。それ以外にはない。名前はあるがどうでもいい。
僕には、興味がない事だから。
「それじゃ、早く帰っておいでね」
「わかった」
母は楽しそうに言う。何がそんなに楽しいのだろう。
僕には関係ない事だ。煩わしい。

僕はご飯を食べて家を出る。

僕は他人に興味がない。いや……自分自身にも興味はない。
煩わしい。鬱陶しい。そんな感情しかない。だから、学校は嫌い。
――人が多いから。
誰も僕の事を友達とは思ってないだろう。僕も思ってないから。
部活も強制参加だから、仕方なく入っている。面倒くさいものだ。

学校に着いた。
うるさい連中ばかり。何故あんなに騒げるのか不思議だ。
授業も嫌いだ。なんであんなものを学ぶ必要がある。普通の人間には必要なんだろうが、僕には必要ない。

僕は世界にも興味がないから……。

昼休み。
僕は屋上にいる。ここは誰もいない。
僕だけの世界。ここは天国。
僕だけの理想郷。
一人はいい。何も縛られないから。
「……一人になりたい」
僕は誰に聞かせる訳でもなく、ただ呟いた。だけだったのに――

「一人に……なりたいの？」

声がした。僕しかいないこの空間に声がした。

「一人がいいの？」

もう一度、声がした。
「……誰？」
僕は聞いていた。無視する事が出来なかった。
その声は響いてくる。僕の頭に直接――。

「貴方は、一人になりたいの？」
「僕は一人になりたい」
「どうして……？」
「全部、興味がないから」

「そう……」

それだけを言うと、声は途絶えた。頭の中の声はもう聞こえない。

今のは、何だったんだろう？　頭に響いた声は不思議な声だった。

でも……もう関係ない。

僕には関係ない事。僕には興味がない事だ……。

学校も終わり家に帰った。

家には母がいた。いや、母”だった”人がそこにあった。

何故、こんな事に……。

僕は家を飛び出していた。何かがおかしい光景に、頭をやられたのかも知れない。

そう、思いたかった。だが――外は変わっていた。

赤く……全てを赤く染める世界。

どうしてこんな事に――。

「貴方は……望みました」

また、あの声が響いた。頭の中で……。

静かに、それでいて穏やかに響く声は、

「世界は……貴方一人になりました」

そう告げて、小さく聞こえなくなっていた。

目の前に広がる赤の世界。

赤はゆっくりと、でも確実に広がっていく。

僕はただ、その広がっていく赤の光景を眺めていた……。

――喜んで、いただけましたか？

そう……頭の中で、聞こえた気がした。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

　ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n4452a/

赤の世界

2010年10月20日02時35分発行